

7. 降灰後土石流の可能性マップ

point

- 降灰後土石流については、2001年（平成13年）に施行された土砂災害防止法による土砂災害警戒区域を反映して作成した。



利用上の留意点

このマップは現時点で得られている情報を基に作成したもの。

土砂災害警戒区域の設定は、溪流の流域を新たに設定しているため、過去の土石流危険溪流と必ずしも一致していないことに留意。

実際に富士山において火山噴火が起きた場合には、土砂災害防止法に基づき国が緊急調査を行い、降灰の影響を加味して詳細な土砂災害緊急情報を出すことになっている。

作成手法

降灰後土石流の可能性マップ

※ 2021年1月現在の最新の情報で作成。今後は最新の知見が得られた場合などは検討して最新の図に更新する。

- 宝永噴火後の土砂流出に関する史料を検討した結果、主な土砂災害は降灰の厚さ10cm以上の範囲に集中している。
- そのため降灰後土石流の可能性マップとして、降灰の可能性マップで示す降灰の厚さ10cm以上の範囲に存在する土石流が発生する危険がある溪流の流域界と、土砂災害防止法による土砂災害警戒区域を示している。